

アジア最大級のLGBT関連イベントであり「性」と「生」の多様性を祝福する人たちのための祭典

東京レインボープライド2019開催決定！

特定非営利活動法人 東京レインボープライド(共同代表:山縣真矢、杉山文野)は、2019年4月27日(土)~5月6日(月・祝)までの10日間、アジア最大級のLGBT関連イベントであり、「性」と「生」の多様性を祝福する人たちの祭典、「東京レインボープライド2019」を下記の内容にて開催することが決定しました。

東京レインボープライド 2019 開催概要



※画像は2018年の様子

- 正式名称 : 東京レインボープライド2019
期間 : 2019年4月27日(土)~5月6日(月・祝)の10日間
場所 : 東京都渋谷区代々木公園イベント広場、他協力施設や公共スペース等
参加料 : 無料(ただし、一部の施設入場料およびプログラムは有料)
主催 : 特定非営利活動法人 東京レインボープライド
後援 : 渋谷区

【 主要イベント開催スケジュール 】

▼4月27日(土)~5月6日(月・祝)「LGBT映画ウィーク(仮)」

約1週間にわたり、LGBT関連の映画を上映！ 場所:渋谷アップリンク、吉祥寺アップリンク

▼4月28日(日)&4月29日(月・祝)「プライドフェスティバル」

時間:Day1(28日)▷11時~20時 / Day2(29日)▷11時~18時 / 場所:代々木公園イベント広場&野外ステージ

▼4月28日(日)「プライドパレード」

時間:Day1(28日) 14時出発予定 / 場所:渋谷~原宿(予定コースはHPをご覧ください)

▼4月28日(日)「プライドパレード アフターパーティー」

時間:20時~ / 場所:AiSOTOPE LOUNGE(新宿2丁目)

▼4月29日(月・祝)「プライドフェスティバル アフターパーティー」

時間:18時~22時 / 場所:MAGNET by SHIBUYA109 (渋谷)

▼4月30日(火・祝)「ユース&ファミリープライド (他)」

時間:9時~22時 / 場所:MAGNET by SHIBUYA109 (渋谷)

▼5月5日(日)「プライドウィーク クロージングパーティー」

時間:15時~24時 / 場所:EAGLE TOKYO BLUE(新宿2丁目)

※上記を含む各イベントの詳細は4月上旬に配信予定のプレスリリース第2弾をお待ち下さい。
その際、取材案内も同時にお送りする予定です。

【今年のテーマとステートメント】

2016年「BEYOND THE RAINBOW～LGBTブームを超えて」、2017年「CHANGE-未来は変えられる-」、2018年「LOVE & EQUALITY すべての愛に、平等を。」と謳ってきたTRPテーマ。LGBTプライドパレードの節目とも言える今年2019年は、「PRIDE」という言葉をあえて使った普遍的でシンプルながらも力強いものに決まりました。

I HAVE PRIDE あるがままを誇ろう。

いまから50年前、1969年6月28日。

ニューヨークのゲイバー「ストーンウォール・イン」で、ゲイ(今でいうところのLGBTQ+)たちが警察の手入れに対し初めて抵抗し、それは数日間にわたる暴動に発展しました。いわゆる「ストーンウォールの反乱」です。抑圧されることが当たり前だった世界で、平等な権利を求める活動の始まりでした。当時のスラングで「さりげなくゲイであることをほのめかす」ことを、「ヘアピンを落とす(to drop a hairpin)」と表現していたことから、この反乱は「ヘアピンの落ちる音が世界に響きわたった」と伝えられました。

「私には、PRIDEがある」。その衝撃は大きな波紋を呼び、1年後には現在のプライドパレードの起源となるデモ行進がニューヨークなどで行われました。LGBT運動の大きな転換点として、「ストーンウォールの反乱」は歴史に名を残すことになりました。

そして25年後、1994年8月28日。

日本で初めてとなるプライドパレードが、東京で開催されました。約1,000人が新宿中央公園から渋谷・宮下公園までをレインボーフラッグを掲げて行進しました。「8月28日」という日は、1963年に、マーティン・ルーサー・キング牧師らが中心となって人種差別撤廃を求めて行進し、あの「I Have a Dream」の演説が行われたことでも有名な「ワシントン大行進」と同じ日でした。

ふたたび25年の時が流れた、2019年。

『東京レインボープライド2019』のテーマは、「I HAVE PRIDE」。

私たちは、ひとりひとりが「PRIDE」を持っています。私たちは、異常でも、病気でもありません。恥ずべき存在でも、嫌悪される存在でもありません。ひとりひとりの「PRIDE」が尊重され、輝いていくこと。

そして、「私=I」から「私たち=We」へ、「PRIDE」が結びついていくこと。25周年と50周年という記念すべき年に「PRIDE」の原点に立ち戻り、らしく、たのしく、ほこらしく、手に手をとって、これからも行進を続けていきましょう。いつの日か、真に公平で寛容な、すべての人があるがままを誇れる、愛にあふれる社会が実現する、その日を夢見て。

【今年のキービジュアルは人気アーティストの花井祐介氏による描き下ろし】

昨年のキース・ヘリングに続き、今年のキービジュアルは国内外で高い人気を誇るアーティストの花井祐介氏による描き下ろし。

I HAVE PRIDE



TOKYO RAINBOW PRIDE 2019

©TokyoRainbowPride

【アーティスト：花井祐介】

1978年日本生まれ。50～60年代のカウンターカルチャーの影響を色濃く受けた作風は、日本の美的感覚とアメリカのレトロなイラストレーションを融合した独自のスタイルを形成している。シニカルでユーモアたっぷりなストーリーを想起させる作風は国境を越え多くの人達に支持され、これまでアメリカ・オーストラリア・ブラジル・台湾・イギリス等、様々な国で作品を発表。現在までにVANS,NIXON,BEAMS等へのアートワークの提供など、国内外問わず活動の幅を広げている。

<http://hanaiyusuke.com/bio.html>

【プライドフェスティバル出演アーティスト 第1弾発表！】

プライドフェスティバル2日間のステージを盛り上げてくれるアーティスト第1弾を発表。今年は例年と違い複数の豪華アーティスト達が出演予定！

m-flo



98年にインターナショナルスクールの同級生だった☆TakuとVERBALの2人で活動をスタート。後に、ヴォーカルとしてLISAが加入し、m-floとして本格的に始動。02年にLISAがソロ活動に専念するため、惜しまれながら脱退を決断したが、2017年12月に復帰し、最強のトライポッド「m-flo」が15年ぶりに完全復活！！

星屑スカット



2005年結成。ミッツ・マングローブ、ギャランティック和恵、メイリー・ムーの女装歌手3人によるポップス・歌謡曲グループ。2012年『マグネット・ジョーに気をつける』でメジャーデビュー。以降も、時代やジャンルを超えた楽曲をリリースしながら、洗練されたハーモニーと煌びやかな世界観で、よりエンタテインメント性を高め その活動はさらなる広がりを見せている。

※出演日や他のアーティスト情報など詳細は4月上旬のプレスリリースで全て発表予定です。

「東京レインボープライド2019」に関するさらに詳しい開催内容は、4月上旬にプレスリリース第2弾で改めてご案内いたします。同時に取材案内もお送りする予定ですので今しばらくお待ち下さい。

「東京レインボープライド」は、LGBTをはじめとするセクシュアル・マイノリティ(性的少数者)が、差別や偏見にさらされることなく、より自分らしく、前向きに生きていくことができる社会の実現を目指し、イベントを通してLGBT当事者並びにその支援者(Ally)と共に、「性」と「生」の多様性を祝福し、つながる「場」を提供します。

東京レインボープライド 公式HP : <https://tokyorainbowpride.com/>
【お問い合わせ】東京レインボープライド 広報 : press@tokyorainbowpride.com

らしく、
たのしく、
ほこらしく

TOKYO
RAINBOW
PRIDE